

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院だより

いこいの森

患者さまを中心として、質の高いかつ安全な医療を提供します

患者さま、地域の皆様、関係者の皆様におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より当院の運営に多大なるご協力を賜り心より感謝申し上げます。

当院は、地域の中核病院として、皆様のより身近な存在、そして、頼られる病院でありたいと常に考えています。患者さまを第一に考え、医師・看護師・薬剤師・栄養士・ケースワーカーなど、いろいろな職種がチームとなり話し合いの上、最も良い治療やケアを提供するように努力しております。しかし、時にはご批判もありますが、それは「宝」だと思い改善に繋げるようにしております。中でも採血の待ち時間の長さについては、ご迷惑をおかけしておりますが、現在、鋭意努力しているところでございますのでご容赦のほど宜しくお願いいたします。



今年から地域連携を強化すべく事務・看護師を増員いたしました。近隣医療機関の先生方と連携を密にし、疾病の早期発見・早期治療を進め、地域の皆様の健康保持増進に繋がれば幸いに存じます。また、2025 年問題（団塊の世代の方が 75 歳を迎え受療率が急激に高まること）を見据え在宅医療にも力を入れ、訪問看護も強化して参ります。

さらに、昨年 10 月より専門医・専門看護師によるフットケア外来を開設いたしました。昨今、糖尿病や高血圧等に代表される生活習慣病が増加しており、それに伴う全身の動脈硬化や神経障害が急増しています。それが原因となり、足の潰瘍や壊疽に進行し、切断を余儀なくされる場合もあります。重要なのは、足病変の早期発見・早期治療です。「足がしびれる」「感覚が鈍い」「足が冷たい」「足の色が悪い」「歩くと痛い」などでお悩みの場合は、ご紹介状を持参して外来窓口へご相談ください。

今後も、職員一同、「西部病院に来て良かった」と思われる病院を目指し、ホスピタリティの心を持ち、医療の質向上に邁進して参りますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

副病院長(看護部長) 岩淵泰子

Seibu Time ⑨『聖マリアンナ医科大学』

聖マリアンナ医科大学は、川崎市宮前区にある私立の医科大学です。建学の精神は、『キリスト教的人類愛に根ざした、生命の尊厳を基調とする医師としての使命感を自覚し、人類社会に奉仕する人間の育成、ならびに専門的研究の成果を人類の福祉に活かしていく医師の養成』です。昭和46年に開学し、今年で44年目を迎えました。4つの病院(大学病院、東横病院、川崎市立多摩病院(指定管理者制度による受託運営)と当院)、1つの診療所(ブレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック)があり、相互に連携して運営をしています。

詳しくは、ホームページ <http://www.marianna-u.ac.jp/> をご覧下さい。当院のホームページからもつながっています。



聖マリアンナ医科大学の大学キャンパスと
大学病院、看護専門学校など

絵画を寄贈して いただきました



このほど、横浜にゆかりの画家である、宮島永太良(みやじまえいたろう)さんから、「みんなの演奏会Ⅳ」の原画が当院へ贈られました。

これは、横浜市と毎日新聞社が共同で開催している音楽イベント「クラシック・ヨコハマ」のコンサートのために制作した絵画で、病気と闘う子どもたちに元気になって欲しい、という願いが込められています。ウサギのオリジナルキャラクター「マルタ」やその他の動物が楽器を持って演奏する姿が、明るい色合いで描かれていて、元気の原動力になるような絵です。この絵は、「こどもセンター」がある当院2階のエレベーターホールに飾らせていただきました。是非、ご覧下さい。

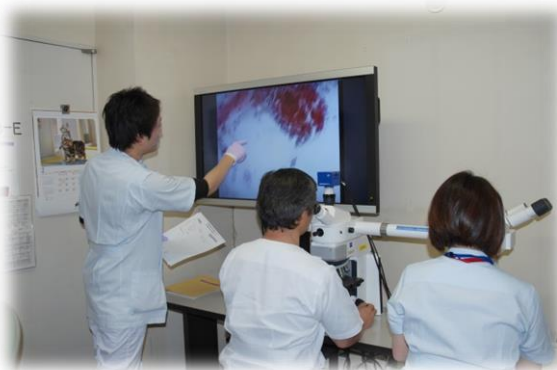
シリーズ
部署
紹介

#02 病理診断科

病理診断科は「病理診断」を主に行う診療科です。病理診断は、患者さまの身体から採取した組織や細胞を顕微鏡で観察し、そこにはどのような変化が起きているか、またその原因が何かをつきとめる診断で、「病理医」という専門の医師が行います。細胞の形や組織の構造、含まれる成分や遺伝子の状態などを細かく調べ、その結果を辿って病気に迫る病理医の仕事は、探偵のイメージにも近いかもしれません。

また病理診断には、不幸にして亡くなられた方の病理解剖も含まれます。死因や治療効果などの検索を目的に行い、診療や教育の進歩の源とさせていただいています。

病理医は全国的に数が少なく、比較的大きな規模で設備が整った医療機関にしかおりません。当院の病理診断科には常勤の病理医のほかに、技術スタッフとして専門のトレーニングを積んだ臨床検査技師・細胞検査士・電子顕微鏡技師がおります。患者さまと直接接する機会は少ないですが、それぞれのスキルを発揮し、より迅速で正確な診断を目指しております。



病理診断科

部長 相田芳夫

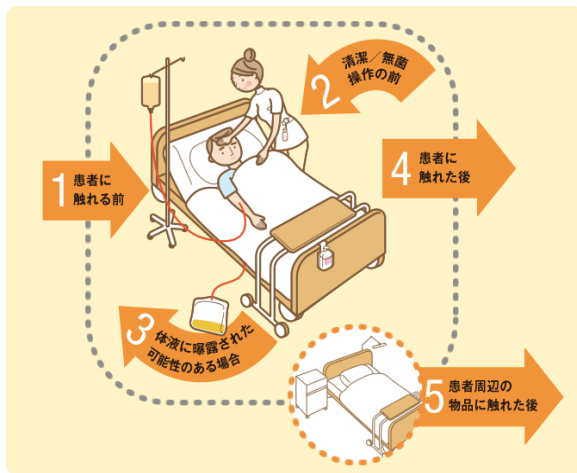
課長補佐 安田 玲子

シリーズ「認定看護師について⑤：感染管理認定看護師」

「インフルエンザの集団発生○人死亡！」など、医療関連感染に関するニュースは後を絶ちません。マスコミもセンセーショナルな報道の仕方をするので、これらの「事件」が起きた特定の病院を非難することがしばしば見受けられます。しかし、感染症はあらゆる病院で生じる危険性があり、ときに大規模な拡大を招きます。これらは初期対策・予防が重要視されるため、病棟を管理する看護師に期待されることが多くあります。現在、ICT（infection control team：感染対策チーム）と感染担当の看護師は、手指衛生の監査や標準予防策、感染経路別予防策が遵守されているか、抗菌薬が適性に使用されているかなどの視点で院内巡視（2 回／週）を実施しています。また、他の医療機関との



感染リンクナースの院内巡視の様子



手指衛生の 5 つのタイミング (WHO)

感染防止対策に関する会議、相互ラウンドへの参加（互いの医療機関を評価し合う）、ICU サーベイランスの JANIS（厚生労働省院内感染対策調査）への参画（統計データを元に研究を行う）などに取り組んでいます。効果的な感染対策は、患者さまにとって、安心・安全な治療となり、早期退院につながるなどメリットとが大きいと、個々の患者ケアを重視した看護の視点と、データから集団としての問題を客観的にとらえる感染管理者としての視点で、感染対策に強い病院を目指して活動しています。

感染管理認定看護師 山崎美鈴

患者さまのご意見から No.05

- ・採血するまでに時間がかかる。2 時間も待った。
- ・採血した人が、あまり上手でなく、痛かった。

当院からの回答

大変お待たせして申し訳ございません。採血室では、1 日に平均で 380 人、多い日は 400 人を超える患者さまの採血をしており、午前中の平均待ち時間は 1 時間を超えています。そこで、待ち時間減少策の一つとして、可能な患者さまには、「診察日以外の採血」「午後の採血」をお薦めしています。午後の時間帯(最終受付 15 時 30 分)は、すいており待ち時間も短くなっていますので、一度担当医へご相談下さい。

なお、採血に時間が必要な患者さま(血管が蛇行、細い、弱い等)の対応や、検査内容が多種多様な時には次の患者さまをお呼びするまでに時間を要する場合等もあります。安全で不快な思いが少ない採血を目指して、職員の研鑽を積んで参りたいと存じます。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



外来駐車場の駐車券の 取り扱い方法変更について

外来駐車場をご利用の際、外来を受診した患者さま及びそのご家族等の方については、従前より割引料金（基本料金 400 円）とさせていただきますが、患者さま等からいただいたご意見を検討した結果、このほど「割引券の受け渡し方法」を次の通り変更いたしました。



変更前

駐車券を外の警備室に提示する必要有り

変更後

外来会計窓口④番に駐車券と領収書をお持ちいただきますと、割引券（上の写真ご参照）をお渡しします（外の警備室へ寄らなくて大丈夫です）。

今後とも、患者さんからの声に耳を傾け、患者さまの利便性向上に取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞご意見をお寄せ下さい。

事務部医事課 菊地隆



総合相談部からのお知らせ

総合相談部では、入院中、または外来診療をされている患者さま、ご家族の方のご不安に思われることについて、ご相談を承っています。ご相談内容については、秘密を守ります。どうぞ、お気軽にご相談下さい（ソーシャルワーク係、ホームケア係は、事前にご予約をお願いします）。

【**ソーシャルワーク係**】利用できる社会保障・サービス・病院や施設のことも相談したい、医療費や生活費が心配 など。

【**ホームケア係**(看護相談など)】介護の仕方が分からない。訪問看護を受けたい など。

【**地域医療連携係**】近くの医院やクリニックを探したい、紹介状について知りたい など。

【**総合案内**】受診の手続きを知りたい、院内のことについて知りたい など。

【**患者さま相談窓口**】ご意見、ご要望があればお聞かせ下さい。

総合相談部の場所：

- ・ソーシャルワーク係、ホームケア係(1 階正面玄関横)
- ・地域医療連携係、患者さま相談窓口(1 階産婦人科外来横)
- ・総合案内(1 階正面玄関)



当院は、原則として「**初診紹介制**」となっています。初めて受診されるときは、地域医療機関（かかりつけ医等）からの「**紹介状**」をお持ちください。初診時に予約制を実施している科もあります。詳しくは、院内のチラシ、ホームページ、または総合案内、地域医療連携係へご確認下さい。

【**当院の休診日**】 日曜日、国民の祝日、第 1・3 土曜日、開学記念日(10 月第 2 土曜日)、
年未年始(12 月 29 日～1 月 3 日)

発行：聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 地域広報小委員会
〒241-0811 横浜市旭区矢指町 1197-1 TEL：045-366-1111(代)



次回(第 39 号)の発行は、7 月 1 日の予定です。